

# とよま 蔵茶会

2026年4月29日 昭和の日 開催時間  
(水・祝) 10:00~15:00

◆ 茶席券 前売券(2席分) 1500円  
当日券(1席) 1000円

◆ お問い合わせ 角田屋 ☎ 0220-52-2001

チケット・詳細はこちら



駐車場案内



◆ 会場



ヤマカノ醸造蔵 角田屋蔵  
(登米市登米町寺池九日町1)(登米町寺池三日町35)

※席数に限りがございます(なくなり次第終了)

主催：ヤマカノ醸造 株式会社・株式会社 角田屋

# 抹茶と珈琲 二つの蔵をめぐる 一日限りの茶会

北上川の流れとともに  
江戸時代から商いと文化が育まれてきた 城下町登米

かつて 三十一回 まで続いた「とよま茶会」は  
この地に息づく茶の文化を大切に受け継いできました

このたび 七年ぶりにヤマカノ醸造蔵 角田屋蔵を会場に  
「とよま蔵茶会」を開催いたします

この二つの蔵は 同じ建主による兄弟蔵です  
歴史を分かち合う蔵の空間で  
一服のお茶と ゆったりと流れるひと時をどうぞお楽しみください

## ヤマカノ醸造蔵 【珈琲席】

昭和前期（1926年頃～）に登米町中心部の商店街の  
通りに面して建設された店舗蔵です。

建物は、幅六間（10.8m）、奥行三間（5.4m）の  
寄棟屋根で、外側の下部は石張り、  
二階の外壁は海鼠壁なまこかべとなっています。  
一階は一間分を下屋造りとし、開口はガラス戸で  
窓には鉄格子がはめ込まれており、  
二階は、黒柿の欄間がある部屋となっています。

近代的な意匠を強調した店蔵で、老舗醸造店の  
重厚な表構えとなっております。



## 角田屋蔵 【抹茶席】

昭和5年(1930年)4月20日、建主 山田 武四郎、  
棟梁 佐藤 忠洋によって建設された文庫蔵です。

山形の漆職人が、昭和10年(1935年)から  
7年間冬季に泊まり込んで、土蔵内部の  
建具等々を漆塗で仕上げしております。

二階の手摺や欄間、格子建具の漆塗りの豪華さ、  
そして二階には床の間付の書院風一室を設ける等、  
建主と棟梁の拘りと趣を感じ取る事ができる土蔵です。

